

倫 理

(解答番号 ~)

第1問 以下は、高校生AとBの会話である。これを読み、下の問い(問1~10)に答えよ。(配点 28)

- A：あのさ、もう少し後輩に優しくすれば？ 慕ってくれる後輩をつくっておいた方がいよ。いざってときに助けてもらえるしさ。
- B：ご忠告どうも。でも、そういうのは「優しい」って言わないでしょ。内申書のためにボランティアするようなものだよ。動機が利己的で不純だよ。
- A：でもさ、㉔「情けは人のためならず」とも言うでしょ。人のためにしてやることが㉕自己の利益にもなる。それでよくない？
- B：本当に㉖人助けをしたい気持ちがあるなら、見返りなんてむしろ欲しくないと思うな。この前、珍しく家事を手伝ってあげようとしたのに、「何か買って欲しいものでもあるの？」って親に疑われてさ。頭にきちゃったよ。
- A：自分の優しさを分かって欲しかったわけね。でも、それも自分の㉗欲求でしょ。そもそも人助けしたいのも自分の欲求だよ。どんな行為も、結局は欲求の満足が動機なんだよ。動機が利己的じゃない行為なんてないと思うな。
- B：欲求の満足が動機ならすべて利己的ってこと？ でも、純粋に人助けがしたいのを、見返りのために人助けしたいのと同じように「利己的」と呼ぶのはおかしいでしょ。人助けしたいという純粋な善意は、利他的動機と言うべきだよ。
- A：うーん、だとしても、そんな利他的動機がなくても優しい社会はつくれるよ。例えば、㉘介護や医療の保険って、自分が困ったときのためにお金を出し合う仕組みだよ。利己的動機があるから助け合いも生まれるんじゃないかな。
- B：じゃあ、貧困や㉙環境の問題は？ 他者のためって気持ちなしで解決できる？
- A：見返りなしでそういう問題に取り組む人って、なかなかいないよ。寄付やエコをアピールしている企業もあるけど、あれも自分たちの宣伝のためでしょ。
- B：だけど、見返りを求めていたら㉚将来世代のための環境や資源の保護はできないよ。貧困問題の解決も、損得抜き㉛人道的な活動なしには難しいよね。やっぱり、純粋な善意がないと人類の㉜福祉もないんじゃないかな。

問 1 下線部③に関連して、次の文章は、社会における利害の結び付きについての説明である。文章中の **a** ~ **c** に入れる記述をア~カから選び、その組合せとして最も適当なものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 **1**

人間の諸活動がグローバル化した現代では、遠い他者の利害も自己の利害と深く関係している。例えば、市場経済のグローバル化により、**a**。また、世界の飢餓や貧困などを救済することは、**b** ので、世界全体の利益になると考えられている。さらに、差別的扱いを受けてきた人々の救済が、社会全体を利することもある。例えば、性別役割分担を **c**，不平等によって不利益を被る人たちを救うだけでなく、男女共同参画社会を促進し、社会全体の活性化を促すだろう。

- ア 先進国の経済が発展途上国の経済発展に寄与し、経済格差が縮小した
- イ 一国の経済不安が、世界全体に大きく影響するようになった
- ウ 新自由主義を推進し、世界経済を発展させる
- エ 人類の福祉を向上させ、国際平和につながる
- オ 社会的・文化的性差に依拠するものとして問い直すことは
- カ 生物学的性差に依拠するものとして再評価することは

- ① a — ア b — ウ c — オ
- ② a — ア b — ウ c — カ
- ③ a — ア b — エ c — オ
- ④ a — ア b — エ c — カ
- ⑤ a — イ b — ウ c — オ
- ⑥ a — イ b — ウ c — カ
- ⑦ a — イ b — エ c — オ
- ⑧ a — イ b — エ c — カ

倫 理

問 2 下線部①に関連して、青年が自己形成していく過程についての説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① ハヴィガーストによれば、親との情緒的なつながりを深めつつ、親の価値観を内面化することが、青年期の課題(発達課題)に含まれる。
- ② ハヴィガーストによれば、職業決定や経済的独立の準備を進め、他者と洗練された人間関係を結ぶことが、青年期の課題(発達課題)に含まれる。
- ③ オルポートは、自分以外の人間や事物に対する関心を広げ、現実や自己を客観的にみることを、成熟した人格になるための条件(基準)とした。
- ④ オルポートは、自分独自の人生哲学を獲得し、ユーモアの感覚をもつことを、成熟した人格になるための条件(基準)とした。

問 3 下線部㉔に関連して、次のア～ウは、苦しむ人々を救うことに尽力した人物の説明であるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 3

ア 人道主義的立場から、労働者の劣悪な生活環境を改善することを目指して、協同組合の設立や理想的な共同体の建設を試みた。

イ インドを中心に、貧しい人々や孤児などの社会的弱者の救済活動に生涯をささげ、見捨てられた病人のために「死を待つ人の家」を設立した。

ウ 人種差別に抵抗して、非暴力の思想に基づく運動を展開し、黒人が公民権を得て白人と平等に暮らせる社会を求めた。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|---------|---|-------|
| ① | ア | エンゲルス | イ | ガンディー | ウ | キング牧師 |
| ② | ア | エンゲルス | イ | ガンディー | ウ | ラッセル |
| ③ | ア | エンゲルス | イ | マザー・テレサ | ウ | キング牧師 |
| ④ | ア | エンゲルス | イ | マザー・テレサ | ウ | ラッセル |
| ⑤ | ア | オーウェン | イ | ガンディー | ウ | キング牧師 |
| ⑥ | ア | オーウェン | イ | ガンディー | ウ | ラッセル |
| ⑦ | ア | オーウェン | イ | マザー・テレサ | ウ | キング牧師 |
| ⑧ | ア | オーウェン | イ | マザー・テレサ | ウ | ラッセル |

倫理

問 4 下線部㉑に関連して、次のア・イは、マズローが考えた欲求の理論についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

ア 他者と関わり親密な関係を築きたいという、愛情と所属の欲求が満たされると、承認(自尊)の欲求が生じるようになる。

イ 生理的欲求、安全の欲求などの欠乏欲求が満たされると、自己実現の欲求という、より高次の欲求が生じるようになる。

- ① ア 正 イ 正
- ② ア 正 イ 誤
- ③ ア 誤 イ 正
- ④ ア 誤 イ 誤

問 5 下線部㉒に関して、現代日本の介護問題や、それに対する取組みについての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

① 現代では少子化や単身世帯の増加によって家族の絆きずなや結び付きが弱まってきたため、家族内での介護を支援し、その結び付きを再び強化する制度として、介護保険制度が導入された。

② 近年、女性の社会進出が進んでいるが、夫は仕事に専念し妻は育児や介護に専念したいという家庭も多いため、そのような家庭を支援するために、育児・介護休業法が制定された。

③ 高齢化と核家族化が進み、高齢者の単身世帯のさらなる増加が予想される現代では、社会全体で介護を担う公的制度が必要であるが、地域社会の自発的活動による介護支援も注目されている。

④ 結婚のあり方が大きく変わり出生率が低下した現代では、少子化が大きな問題であるが、高齢者の介護を充実させるという点では、育児に対する家族と社会の負担を減らす少子化は望ましいとされている。

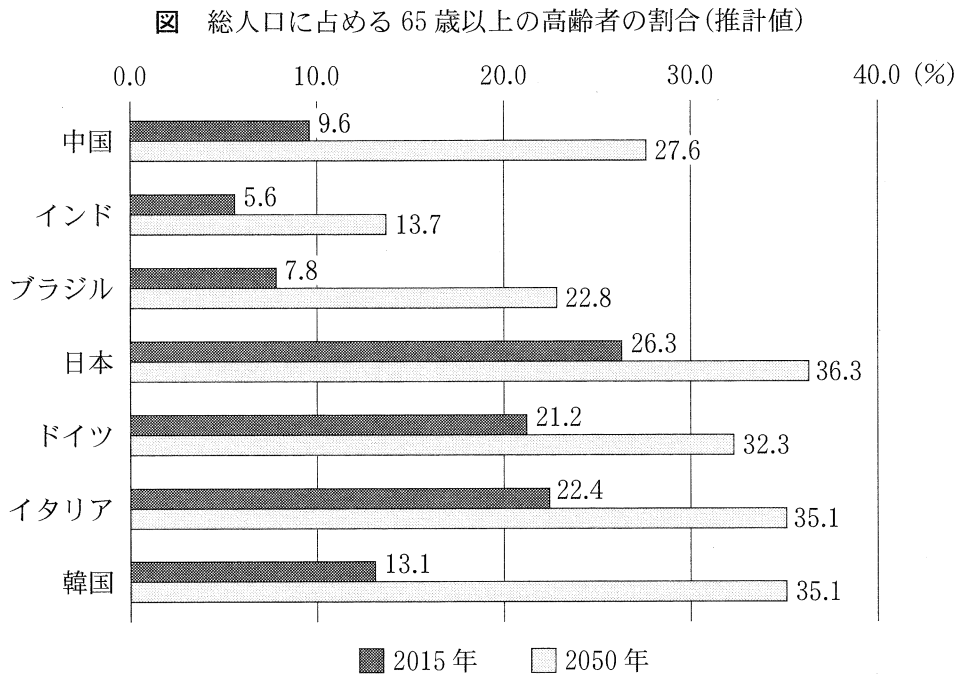
問 6 下線部①に関連して、環境に関わる問題や思想についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 人間中心主義を見直し、自然にもそれ自体の価値を認めようという考え方から、自然の生存権が主張されるようになった。
- ② 20世紀半ば以降に生じた急激な地球温暖化は、フロンガスなどによるオゾン層の破壊を主たる原因としている。
- ③ 有限な環境で自由な利益追求を認めると全員の損害になるので、その予防のために自由を制限すべきだとする、予防原則の考え方が登場した。
- ④ 原子力エネルギーの利用によって発生する放射性物質は、酸性雨を引き起こす主たる原因である。

倫理

問 7 下線部㉔に関連して、次の図は、65歳以上を高齢者と定義し、7つの国について、2015年と2050年の総人口に占める高齢者の割合(推計値)を、2015年時点で総人口の多い国から順に並べて示したものである。この図から読み取れる、これら7か国の将来の高齢化についての記述として最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 7



(注) 図の数値は%を表す。

(資料) 労働政策研究・研修機構『データブック国際労働比較 2016』より作成。

- ① 2015年の時点で、総人口に占める高齢者の割合が高い上位3か国は、2050年においても同様に上位3か国であり、現在の高齢化の状況が今後の高齢化の進行に影響すると言える。
- ② 2015年と2050年の総人口に占める高齢者の割合の差が大きい国は、大きい方から順に、韓国、中国、ブラジルであり、地域や現在の総人口に関係なく高齢化が進行すると言える。
- ③ 2050年の総人口に占める高齢者の割合が、中国、インド、ブラジルでは2015年の2倍以上になるが、それ以外の4か国では2倍以下にとどまり、現在の総人口が今後の高齢化の進行に影響すると言える。
- ④ 2015年の時点で、総人口に占める高齢者の割合が20%を下回っているのは4か国であるが、2050年には7か国すべてで20%を上回り、地域や現在の高齢化の状況に関係なく高齢化が進行すると言える。

倫理

問 8 下線部①に関して、次の文章は、国境なき医師団が人道主義について述べたものである。その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

8

人道主義が登場するのは、政治が失敗したとき、または危機に陥ったときです。私たちは、政治的責任を引き受けるためではなく、政治の失敗による非人間的な苦しみをまず和らげるために活動します。活動は政治の影響を受けてはなりません。そして、政治は、人道主義の存在を保証する責任を自覚しなければなりません。人道的活動は、活動のための枠組みを必要とします。紛争の際のその枠組みとは、国際人道法です。それは犠牲者と人道支援団体の権利を確立し、それらの尊重を保証する責任と、戦争犯罪によるそれらの侵害を罰する責任を国家に負わせるのです。今日、この枠組みが正常に機能していないのは明らかです。紛争の犠牲者の支援に赴くことが拒否されるのは、よくあることです。また、人道支援が、交戦国によって戦争の道具に使われることさえあるのです。

(国境なき医師団「ノーベル平和賞受賞講演」より)

- ① 政治は、人道主義が政治の失敗の責任を引き受けることができるよう、人道主義の存在とその活動を保証する責任をもつ。
- ② 人道主義の活動は、国際人道法のような政治的・法的前提を必要とせずに成立し得るものなので、政治の影響を受けずに行うことができる。
- ③ 政治は、自らの目的に合わせて人道主義を利用すべきでなく、法的枠組みによって人道主義の活動の独立性を保証しなければならない。
- ④ 人道主義の活動は、国際人道法の制限を受けるので、紛争の犠牲者へのアクセスを禁じられたり、交戦国に利用されたりしても、やむを得ない。

問 9 下線部①に関連して、センによる福祉の捉え方の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 個人の才能としての「潜在能力」を最大限に引き出し、各人が自分の能力を社会で発揮できるようにすることによって、財や所得の豊かさという福祉の目標を実現しなければならない。
- ② 生き方の幅としての「潜在能力」を改善し、各人が自分の達成できる状態・活動をより自由を実現できるようにすることで、財や所得の豊かさという福祉の目標を実現しなければならない。
- ③ 個人の才能としての「潜在能力」を最大限に引き出し、各人が自分の能力を社会で発揮できるようにすることが福祉の目標であり、財はこの目的のために分配されなければならない。
- ④ 生き方の幅としての「潜在能力」を改善し、各人が自分の達成できる状態・活動をより自由を実現できるようにすることが福祉の目標であり、財はこの目的のために分配されなければならない。

倫 理

問10 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① Aの考えでは、利他的にみえる行為も、結局は欲求の満足を求めている点で、動機は利己的である。そのため、利他的な動機は存在しないので、社会における助け合いは生じ得ない。
- ② Bの考えでは、たとえ人のためになる行為であっても、見返りを求めてなされるべきではない。しかし、たとえ動機が利他的であっても、結果が人のためにならないならばその行為に意味はない。
- ③ Aの考えでは、利他的にみえる行為も、結局は欲求の満足を求めている点で、動機は利己的である。社会における助け合いは利己的動機からも生じ得るのであって、純粋な善意が動機である必要はない。
- ④ Bの考えでは、たとえ人のためになる行為であっても、見返りを求めてなされるべきではない。人助けしたいという欲求も、その欲求の満足という見返りを求めているので、利他的動機とは言えない。

(下書き用紙)

倫理の試験問題は次に続く。

倫理

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 24)

「あの人のようになりなさい」と言われると、自分らしさが否定されると反発する人も多いただろう。だが、古代より、他者の生き方を模範とし、それを④自らの生き方の指針とすることに積極的な意味が見いだされてきた。

誰かを模範にして生きるとはそもそもどのようなことなのかということは、どの文化でも重要な問いであった。①イスラーム教では、神に従った生活を送るうえで、神に正しく導かれたムハンマドの言行が、倣うべき生きた実例とされている。孟子は、③聖人になどなれないと嘆くのは、^な為すべきことを為していないだけだと批判し、仁の道を実際に体現した過去の聖人に倣うことで、人はみな聖人のようになれると説いた。また、徳の修得は習慣づけによって可能になると考えた④アリストテレスによれば、徳を身に付けるためには、実際に他者とともに生きるなかで、徳のある人に倣った行動をすることが必要である。これらの考え方からうかがえるように、人々の模範とされてきたのは⑤理想となる生を体現した人物であり、そうした具体的な模範から人々は善き生を学ぶことができるとされた。

それでは、善き生のための模範を必要とする人間とはどのような存在だと考えられてきたのだろうか。例えば、仏教では、ブツダの生き方を模範として様々な戒律が定められているが、その背景には、煩惱に^{とら}囚われ、欲望から離れられない人間のあり方への洞察があった。⑥修行を行う者は、自らの弱さへの自覚があるからこそ、正しい模範に倣い、戒律を守る努力をするのである。また、⑦パウロは、人々が自分を中心に考え、欲望のままに生きてしまう^{つみびと}罪人だからこそ、キリストに従って生きるべきだと説いた。彼は、キリストが人間の姿で現れ、苦難を経験したことを「謙遜」と捉え、罪人である私たちも、自分を誇ることのないキリストの謙遜の姿勢を模範にすべきだと考えたのである。このように、模範となる生を求める背後には、人間が⑧欲望に深く囚われた弱い存在だとする考え方もみられた。

古くから人々は、善き生を体現した人物を具体的な模範にすることで、善き生を学ぶことができると考えてきた。そこには、善き生のための模範を必要とする、欲望を拭い難い人間存在への鋭い洞察もあった。私たちも優れた人間とは限らないからこそ、他者の生を模範とする生き方に学ぶべきことがあるのではなからうか。

問 1 下線部②に関連して、人々に生き方の指針を示す役割を果たしてきたものには、数々の書物もある。そうした書物についての説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 仏教では、自らの社会的身分に即して活動したブツダの言行が、『スッタニパータ』にまとめられており、人々が生まれつきの身分にふさわしい活動をするための模範とされている。
- ② イスラーム教では、六信の対象の一つである諸啓典(聖典)のうちで最も重要な啓典であるクルアーン(コーラン)が、ムスリムの生活を様々な面で規定している。
- ③ ホメロスの『イリアス』や『オデュッセイア』は、神話的世界観を批判し、神々の登場しない人間の英雄たちの物語を描き出しており、人々の行動や考え方の指針とされた。
- ④ ユダヤ教やキリスト教の聖書では、預言者イザヤが当時の王国のあり方を賞賛し、民衆に神の言葉を伝えた姿が描かれており、彼の言行はあるべき信仰の模範とされている。

問 2 下線部③に関して、イスラーム教についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① クルアーンは、ユダヤ教の聖典に倣ってヘブライ語で著わされた。
- ② すべてのモスクでは、聖地エルサレムに向かって礼拝が行われる。
- ③ イスラーム教は、五行の一つとして喜捨(ザカート)の義務を定めている。
- ④ キリスト教徒らと区別して、イスラーム教徒は「啓典の民」と自称する。

倫 理

問 3 下線部㉔に関して、聖人と小人^{しょうじん}のあり方について書かれた次の荀子の文章を読み、その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

13

およそ人間の性(性質)について言えば、あの聖天子の堯^{ぎょう}や禹^うも、暴君^{けつ}の桀や大盜賊^{とうせき}の盜跖*とその性は同じであり、優れた君子も、つまらない小人とその性は同じである。今、仮に礼義(社会規範)や作為の集積が人間の生まれつきの性にそなわっているものとしてみよう。それならば、またどうして聖天子の堯や禹を尊重する理由があろうか。どうして君子を尊重する理由があろうか。そもそも堯や禹やまた一般の君子を尊重するわけは、彼ら^{かれら}がその生まれつきの性を変えて後天的な作為を起こし、その作為が起こされた結果として礼義をつくることができたからである。……人間の性の善さというのは後天的なしわざの結果である。

(『荀子』より)

*聖天子の堯や……大盜賊の盜跖：いずれも孔子以前に存在したとされる人物

- ① 優れた君子にもつまらない小人にも、あらかじめ礼義や作為が性にそなわっており、小人でも生まれつきの性を善に変えることができる。
- ② 私たちが堯や禹を尊重する理由は、彼らの性が小人とは異なっていたからであり、彼らは小人の性を善に変える礼義をつくることができた。
- ③ 優れた君子もつまらない小人も、生まれつきの性は変わり得ないので、性の悪を抑えるために、礼義や作為が後からつくられた。
- ④ 私たちが堯や禹を尊重する理由は、彼らが生まれつきの性を後から善へと変えて、礼義をつくることができたからである。

問 4 下線部㉑に関して、アリストテレスの自然観の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 自然界の事物は、質料に形相が与えられることで成り立っており、事物は質料の実現という目的に向かって生成・発展していく。
- ② 自然界の事物は、質料と形相とが結び付いて成り立っており、事物は形相の実現という目的に向かって生成・発展していく。
- ③ 自然界の事物は、質料に形相が与えられることで成り立っており、形相がもつ潜在性によって、偶然的で自由な仕方で生成・発展していく。
- ④ 自然界の事物は、質料と形相とが結び付いて成り立っており、質料がもつ潜在性によって、偶然的で自由な仕方で生成・発展していく。

問 5 下線部㉒に関連して、理想とされた生のあり方を説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 孔子は、武力に訴えるのではなく、仁と礼に基づく霸道政治を行った聖人の生き方を理想とした。
- ② 孔子は、仁を重視する生き方は次善のものだとし、仁が不要となるような自然と調和した生き方を理想とした。
- ③ 大乘仏教では、修行者として悟りを得て、煩惱のない境地に到達した阿羅漢のあり方が理想とされた。
- ④ 大乘仏教では、自己の悟りを目指すだけでなく、利他行に励む菩薩のあり方が理想とされた。

倫 理

問 6 下線部㉑に関して、仏教の修行法である八正道についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 快樂と苦行を避け、中道に生きるための修行法が八正道であり、その一つである正業とは、^あ悪しき行為を避け、正しく行為することを指す。
- ② 快樂と苦行を避け、中道に生きるための修行法が八正道であり、その一つである正業とは、人の行為と輪廻の関係を正しく認識することを指す。
- ③ 六波羅蜜の教えに由来する修行法が八正道であり、その一つである正業とは、悪しき行為を避け、正しく行為することを指す。
- ④ 六波羅蜜の教えに由来する修行法が八正道であり、その一つである正業とは、人の行為と輪廻の関係を正しく認識することを指す。

問 7 下線部㉒に関して、パウロの思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 人間は、善を望んでいるはずなのに、望まない悪を行ってしまう。そこからの救済は、キリストへの信仰によるほかに、人類全体の罪を担ったキリストに従い、私たちもまた、隣人への愛を実践すべきである。
- ② 人間は、善を望んでいるはずなのに、望まない悪を行ってしまう。そこからの救済は、キリストへの信仰によるほかに、神と契約したキリストのように、私たちもまた、神との契約である律法を正しく遵守すべきである。
- ③ 人間は、肉体の情欲に引きずられ、望まない悪を行ってしまう。そこから救済されるためには、自らの運命を受け入れたキリストのように、私たちもまた、罪のない本来の自己を再発見し、それを受け入れるべきである。
- ④ 人間は、肉体の情欲に引きずられ、望まない悪を行ってしまう。そこから救済されるためには、苦しむ人々を癒したキリストに従い、私たちもまた、善行を積むことによって、神から義とされるよう努力すべきである。

問 8 下線部①に関して、次のア～ウは、人間の欲望をめぐる先哲たちの洞察についての記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

ア ブッダによれば、人間が所有欲などの欲望から離れられない原因は、自己という不変の存在を正しく把握していないことにある。

イ プラトンによれば、不正な行為が生まれる原因は、魂のうちの欲望的部分が、理性的部分と気概的部分を支配してしまうことにある。

ウ 朱熹(朱子)によれば、人間が私欲に走る原因は、先天的にそなわっている理が、気的作用によって妨げられていることにある。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ② | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ④ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |

倫 理

問 9 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 他者を模範とする生き方は、理想的な生を体現した人物に倣うことで善き生につながり得るが、それでも人間の欲望を根絶することはできないと考えられてきた。そこには、模範となる生が示されても、それに学ばず、自らのあり方から目を背けてしまう人間の弱さへの洞察もあった。
- ② 他者を模範とする生き方は、理想的な生を体現した人物を具体的な模範とすることで、善き生を学ぶことにつながると考えられてきた。さらに、そうした人物を模範とすることを重視した背後には、人間が弱く、欲望から離れ難い存在であることに注目する考え方もあった。
- ③ 他者を模範とする生き方は、善き生を送った人物を具体的な模範とすることで、人を善き生へ導いてくれると考えられてきた。その背後には、人間とはもともと欲望に囚われることのない存在であり、模範的な生が示されることで、そうした人間本来の姿を確認できるとする考え方もあった。
- ④ 他者を模範とする生き方は、拭い難い欲望に囚われている人間にとって、正しい行動を示し、善き生へ導いてくれると考えられてきた。他方で、そもそも人間にはそうした模範は不要であり、他者の生き方を模範とすることは、消極的な生き方であるとする考え方もあった。

(下書き用紙)

倫理の試験問題は次に続く。

倫理

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 24)

先人たちの思想は、多くの場合「教え」として伝えられてきた。だが、その教えの内容の多様さとともに、人々を教え導く営みそのものにも様々な姿があった。日本の先人たちは、教えるという営みにどのように向き合ってきたのだろうか。

古代では、教えは氏族を守る知恵として、㉑ 神話や伝承を通して語り継がれていた。やがて、仏教が伝来すると、次第に氏族の枠を超えた㉒ 布教が行われるようになり、教えるという営みを反省的に捉える者が現れるようになった。例えば、親鸞は、煩惱に向き合い悪人の自覚を深めるなかで、絶対他力の信仰を獲得し、その布教に努めた。救済は仏の力によるほかないと考えた彼は、「親鸞は弟子一人ももたず」と語った。また、㉓ 日蓮は、度重なる迫害を受けるなかで自己の存在意義を問い直し、『法華経』の教えを末法の世に広める使命感を強めていった。

近世になると、㉔ 学問による徳の修養を重んじる儒学が興隆したことにより、教える者自身に徳を求める傾向が強まった。例えば、㉕ 石田梅岩は、欲望に染まった不徳の身でありながら「人の人たる道」を説こうとする自身の熱意を「病」と呼び、欲望を満たさぬ清貧の生活を自らに課したうえで、徳の修養と教育活動に専念していった。また、弟子の手島堵庵は、梅岩のような徳をもたない自分は師に値しないと考え、梅岩の教えを学び合う「朋友」^{ほうゆう}を獲得することを自身の役割とした。

近代になると、㉖ 西洋の知識や国民としての道徳を身に付けさせる教育が国全体の課題と位置づけられ、教えに携わる者は、自己の役割を国のあり方と結び付けて模索するようになった。例えば、西村茂樹は、孔子にせよイエスにせよ、誰か一人を師として信奉するような態度を批判しつつ、㉗ 伝統的な道徳とともに西洋哲学をも学ぶことを提唱し、新たな国民道徳の確立とその普及に努めた。また、㉘ 内村鑑三は、武士道とキリスト教との共通点を見だし、日本には真のキリスト教国になる使命があると考えた。そして、神の教えに忠実であろうとする立場から、罪深き自己が救済された体験を人々に語り続けた。

以上のように、先人たちにとって、教えるという営みは、自己のあり方やその役割を模索することでもあった。そして、その模索は、よりよき生や社会の実現を目指す強い信念に支えられていたと言えるだろう。

問 1 下線部㉔に関して、日本の神話や伝承で示される神についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 元来、神は特定の形をもつものではなく、人間に畏怖の念を抱かせるものや、人知を超えた不可思議な現象が神のあらわれとされた。
- ② 神は善事を行うだけでなく狼藉ろうぜきを働くこともあったが、神の狼藉は造物主としてのアマテラスによって裁かれると考えられた。
- ③ 洪水や飢饉ききん、疫病の流行といった災厄は神の祟りたたであり、祟りをなす神に対してはいかなる祭祀さいしを行っても効果がないとされた。
- ④ 神は人間の住む世界からは隔絶した他界に存在し、自然の秩序や人々の生活に関与することはないと考えられた。

問 2 下線部㉕に関して、次のア～ウは、仏教の布教に取り組んだ人物についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

- ア 鑑真は、密教の教えに厳密な戒律を取り入れた真言律宗の立場から、各地を遍歴し、病人の救済や、道路や橋の修造を行った。
- イ 空海は、唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開くとともに、綜芸種智院を設立し、庶民教育にも努めた。
- ウ 一遍は、念仏を唱えれば信不信にかかわらず往生できることを伝えるべく、各地を漂泊したことから、遊行上人と呼ばれた。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤
- ② ア 正 イ 誤 ウ 正
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

倫 理

問 3 下線部㉔に関して、日蓮についての説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 個人の救済だけでなく、正しい仏法に基づく政治の実現が重要だと考え、為政者への布教も行うことで、現実社会を仏国土とすることを目指した。
- ② 国難の到来を防ぎ、国土安穩を実現するためには、宗派間での融和を図ることが必要だと考え、他宗に協力を呼びかけた。
- ③ 『法華経』には、釈迦は時を超えて永遠に存在し続けると説かれていることに着目し、末法の世であっても救済は達成され得ると主張した。
- ④ 『法華経』には、人々の救済に献身する菩薩が描かれていることに着目し、その姿に自己をなぞらえることで教えを説こうとした。

問 4 下線部①に関して、次の文章は、近世において学問がどのように学ばれていたかについての説明である。文章中の **a** ~ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 23

近世に学問が興隆した背景の一つに、出版業の発展がある。**a** は、初学者に向け、和文で『大和本草』『養生訓』などを著し、その書は広く読まれた。書物の普及につれて、塾や学校が各地に設立された。例えば、懐徳堂からは、儒学や仏教などがいかに歴史的に展開するかに関して加上説という考え方を唱えた **b** など、独自の学説を打ち出す人物が数多く輩出した。

塾や学校では、漢籍の素読のほか、師匠による講釈、現在の読書会にあたる会読などが行われた。山崎闇斎は、朱子学の真髄を伝えようとして講釈を重要視したが、朱子の解釈に頼らず儒学の原典に直接向き合うことを重視した **c** は、講釈よりも会読を重視した。このように、思想的立場の違いは教え方の違いにも反映された。

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| ① | a 貝原益軒 | b 安藤昌益 | c 新井白石 |
| ② | a 貝原益軒 | b 安藤昌益 | c 荻生徂徠 |
| ③ | a 貝原益軒 | b 富永仲基 | c 新井白石 |
| ④ | a 貝原益軒 | b 富永仲基 | c 荻生徂徠 |
| ⑤ | a 本居宣長 | b 安藤昌益 | c 新井白石 |
| ⑥ | a 本居宣長 | b 安藤昌益 | c 荻生徂徠 |
| ⑦ | a 本居宣長 | b 富永仲基 | c 新井白石 |
| ⑧ | a 本居宣長 | b 富永仲基 | c 荻生徂徠 |

倫理

問 5 下線部㉔に関して、石田梅岩についての説明として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 心を磨くための教えとして、儒教だけではなく神道や老荘思想も柔軟に取り入れながら自説を形成したが、仏教を排斥しようとする姿勢を崩すことはなかった。
- ② 商家で奉公していた経験を活かし、京都の自宅で日常生活に即した平易な講話を行った。受講料を取らず、聴講は自由としたが、女性の聴講を認めることはなかった。
- ③ 身分を上下関係としてではなく社会的分業を示すものと捉え、職業に励むことでそれぞれの役割を果たすことを人々に勧めたが、身分制そのものを否定したわけではなかった。
- ④ 当時、蔑視されがちであった商業行為を肯定し、品物を流通させることで為政を助ける点に積極的役割を認めた。だが、利益を獲得することを肯定したわけではなかった。

問 6 下線部㉕に関して、西洋の知識を積極的に取り入れた思想家についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 西周は、アメリカから帰国した後に、同志社英学校を創立して、キリスト教の精神に基づく教育を行った。
- ② 植木枝盛は、ルソーの『社会契約論』を翻訳した『民約訳解』を出版し、日本の実情に即した民権のあり方を説いた。
- ③ 西周は、「門閥制度は親の敵」と述べ、欧米への視察旅行で得た知見をもとに、封建的な秩序や意識を批判した。
- ④ 植木枝盛は、西洋の民権思想をもとに主権在民の必要を説き、人民には政府の専制に対して抵抗する権利があると主張した。

問 7 下線部㉔に関連して、伝統的な道徳や文化の重要性を主張した人物に三宅雪嶺がいる。彼についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 天皇制国家主義の立場から教育勅語の道徳を重視し、忠と孝を国民道徳の中心に据えるべきと主張した。
- ② 自己の内面を見つめることの必要を説く人格主義の立場から、東西の古典を積極的に摂取する必要を呼びかけた。
- ③ 政府の欧化主義を批判し、日本固有の風土や文化に即して西洋文明を取捨選択すべきとする国粹主義(国粹保存主義)を唱えた。
- ④ 天皇の名のもとでこそ国民の平等が達成されるとしたうえで、超国家主義の立場から国家の改造を主張した。

倫理

- 問 8 下線部①に関して、次の文章は、内村鑑三がキリスト教の伝道活動に専念し始めた時期に書いたものである。その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

罪から救われた者がまだ罪に沈んでいる者を救おうとするのが伝道であり、救済である。私が救済を唱えるのは、私が完全無欠の人であるからではなく、私はかつて病を癒されたことがあるから、その快さを他人と分かち合いたいと思うからにほかならない。……私たちは世の人々を教えようとする教師ではなく、体験したことを世の人々に分かとうとする表白者である。私たちは人々を私たちのもとに導こうとする者ではなく、私たちを経由して人々を神のもとへと導こうとする者である。したがって、私たちは欠点を指摘されることを厭わ^{いと}ない。なぜならば、私たちの欠点はかえって神の完全性を示すことになるからであり、私たちの弱さは神の強さを確認させることになるからである。

〔「基督教と師弟の関係」より〕

- ① キリスト教の伝道は、罪に沈む人々を伝道者の力で直接に救済するものではないのだから、伝道者は弱き自己が救済された体験を伝えることに徹するべきであり、神の完全性を示すことを目指すべきではない。
- ② キリスト教の伝道は、伝道者が弱さを自ら克服した体験を語ることによって、人々に弱さを克服する意志をもたせるものである。したがって、伝道者のもつ弱さは、伝道を行ううえでかえって好都合ともなり得る。
- ③ キリスト教の伝道は、人々を神に出会わせるという重責を担っているため、伝道者は自らの弱さを自覚し、厳しい自己鍛錬によって神の強さに少しでも近づくことができるよう努めなければならない。
- ④ キリスト教の伝道は、人々を神に出会わせ、罪から救われる喜びを伝えるものである。その際に、伝道者のもつ弱さが人々に露わ^{あら}になったとしても、そのことはかえって神の強さを示すことにもなり得る。

問 9 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 日本の先人たちは、教えを説くという営みがもつ役割の大きさに対して自覚的であり、その営みに従事するためには徳を身に付けることが不可欠だと考えた。そして、その徳が人々に認められることではじめて、教えを説く自己の立場を確固たるものにすることができた。
- ② 日本の先人たちは、教えを説くにあたり、自己を見つめ直したり、自らの役割を模索したりするなかで、各々の立場を見いだしていった。その結果、どのように人々を教え導くかについて多様な考え方が生まれたが、彼らの営みの背後には、よりよい生や社会の実現を目指す決意があったと言える。
- ③ 日本の先人たちは、よりよい生や社会の実現を目指し、教えを説く自らの立場や役割を省みることなく、布教や教育活動といった実践に専念した。そのような彼らの営みの背後には、自己を犠牲にしてでも人々や社会のために尽くそうとする姿勢があった。
- ④ 日本の先人たちは、教えを説く自身の立場を厳しく問い直すなかで、自己の卑小さに直面し、それを克服することに努めてきた。克服の方法は様々であったが、彼らの営みは、いったん自己を否定し、神仏や師に全面的に依拠しようとする姿勢に支えられていたと言える。

倫理

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

「遊びをせんとや生まれけむ」という日本の歌謡がある。人は遊ぶために生まれてきたのだろうか、というこの歌は、人間にとって「遊び」がもつ意味や価値を、我々に問いかけている。その答えを、ここでは西洋近代思想のなかに探してみよう。

長い間、遊びは、成熟した文化や社会にとって^{きまつ}些末で無用なものとなみなされてきた。キリスト教のなかでもカルヴィニズムには、勤勉や禁欲を④道徳として重んじ、人々が公の場で娯楽に興じることを禁じる傾向があった。また、生産活動を尊び、労働と余暇を対置する価値観が登場すると、遊びを軽視する傾向はいつそう強まった。例えば、⑤ロックは、道徳や教育を重視する立場から、仕事や勉学を促進するための息抜きや気分転換としてのみ、遊びの価値を認めた。

だが、時代が進むと、人間精神の自由や創造性を、遊びとして捉え直す思想も現れる。⑥カントに影響を受けた詩人シラーは、遊びの衝動こそが感性と理性を結合すると考え、その衝動を人間の創造性の源泉とみなした。彼は、遊びだけが人間を⑦自然と道徳の強制力から解放すると考え、「人間は遊ぶときにのみ完全な人間となる」と説いた。また、ニーチェは、ニヒリズムを克服して永劫回帰の世界を肯定する、人間精神の最終的到達点を、^{むく}無垢な子どもの遊びになぞらえた。

20世紀には、遊びは、人間の⑧社会的活動を理解する鍵としても注目される。社会心理学者の G. H. ミードによれば、子どもは、ごっこ遊びのなかで他者を理解し始めるが、さらに成長し、組織化されたゲームに参加すると、チームのような社会集団をも、目標や態度を共有する「一般化された他者」とみなせるようになる。また、⑨ウイトゲンシュタインは、言語による他者とのやりとりをゲームに見立てて考察した。さらに、ホイジンガは、宗教や法律など、我々の社会の基盤をなす文化はすべて、実用的な目的から離れた自由で自発的な遊びから生まれた、という考えから、人間を⑩「ホモ・ルーデンス(遊戯人)」と定義する人間観を唱えた。

このように、遊びには、自由と規律、自発性、創造性、他者との交流といった、人間の生の営みを支え、特徴づける諸要素が含まれている。様々な遊びやゲームが身の周りにあふれている時代を生きているからこそ、我々は、先人の考察も^い活かして、遊びの意義や役割を改めて見つめ直す必要があるのではないだろうか。

問 1 下線部㉔に関連して、人倫という概念で道徳を捉え直した思想家にヘーゲルがいる。ヘーゲルの人倫についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 欲望の体系である市民社会のもとでは、自立した個人が自己の利益を自由に追求する経済活動が営まれるなかで、内面的な道徳も育まれるために、人倫の完成がもたらされる。
- ② 人間にとって客観的で外面的な規範である法と、主観的で内面的な規範である道徳は、対立する段階を経て、最終的には、法と道徳を共に活かす人倫のうちに総合される。
- ③ 国家によって定められる法は、人間の内面的な道徳と対立し、自立した個人の自由を妨げるものなので、国家のもとで人々が法の秩序に従うときには、人倫の喪失態が生じる。
- ④ 夫婦や親子など、自然な愛情によって結び付いた関係である家族のもとでは、国家や法の秩序のもとで失われた個人の自由と道徳が回復され、人倫の完成がもたらされる。

倫 理

問 2 下線部①に関して、ロックの社会思想の説明として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 各人は、公共の利益を目指す一般意志に服従して、すべての権利を国家に譲渡するが、国家がこの一般意志を実現することで、各人の権利は保障されることになる。
- ② 知識や理論は、人間が環境によりよく適応していくための道具であり、我々は、創造的知性を用いることによって社会を改善し、理想的な民主社会を実現することができる。
- ③ 各人が利己心に従って自分の利益を自由に追求すれば、おのずから社会全体の利益は増大するが、これは、「(神の)見えざる手」の導きによるものであると考えられる。
- ④ 国家による権力の濫用を防ぎ、権力がその役割を公正に果たすためには、立法権や行政権(執行権)などが一定の独立性をもって互いを制約する、権力の分立が必要である。

問 3 下線部㉔に関して、次の文章は、人間の認識をめぐるカントの思想の説明である。文章中の **a** ~ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 31

カントは、イギリスの経験論と大陸の **a** の二つの立場を統合して、人間の認識の仕組みを説明したとされる。外界にある対象の認識に際して、**b** を通じてもたらされるものは、ばらばらの素材にすぎず、そのままでは理解できない。そこで、**c** を用いる能力である悟性が、論理的な枠組みや形式(カテゴリー)に従い、それらの素材を、我々が理解できるように整理し、秩序づける。このように、カントは、人間の認識は諸能力の協働によって成り立っていると考え、特に我々が美を捉えようとする際には、諸能力が優劣なく互いに調和していることに着目し、その様子を「自由な遊び」と表現した。

- ① a 唯物論 b 感 覚 c 概 念
- ② a 唯物論 b 感 覚 c 直 観
- ③ a 唯物論 b 情 念 c 概 念
- ④ a 唯物論 b 情 念 c 直 観
- ⑤ a 合理論 b 感 覚 c 概 念
- ⑥ a 合理論 b 感 覚 c 直 観
- ⑦ a 合理論 b 情 念 c 概 念
- ⑧ a 合理論 b 情 念 c 直 観

倫 理

問 4 下線部①に関連して、次のア～ウは、自然をめぐる西洋の思想についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

32

ア コペルニクスは、「知は力なり」という信念から、学問や科学的知識は自然を支配するための手段だと考えて、観察や実験から一般的な法則を導く帰納法を提唱した。

イ ニュートンは、地上から天空に及ぶ、すべての物体の運動を力学的な法則によって統一的に説明し、機械のような存在として自然を捉える自然観の確立に大きく寄与した。

ウ カーソンは、農薬や殺虫剤などに含まれる有害な化学物質の氾濫が自然環境や生態系を破壊していると指摘し、その影響は人間の健康や生命にも及んでいると警告した。

① ア 正 イ 正 ウ 誤

② ア 正 イ 誤 ウ 正

③ ア 正 イ 誤 ウ 誤

④ ア 誤 イ 正 ウ 正

⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤

⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

問 5 下線部㉔に関連して、遊びの社会的性格について述べた次の文章を読み、その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

遊びは単なる個人的娯楽ではない。……確かに個人の手腕が目立ち、一人で遊んでいてもおかしくない遊びが、特に技の遊びには数多く存在する。しかし、技の遊びはすぐに技を競う遊びへと変わり得る。これには明白な証拠がある。凧やコマ、ヨーヨー、けん玉などの遊び道具は、一人で操作するものだが、競争相手や観客がいなければ、人はすぐそれらに飽きてしまう。そうならないためには、潜在的にはあれ、競争相手や観客が必要なのだ。それらの遊びには競争の要素があり、そこでは皆が、おそらく姿の見えない、あるいは、その場にいない競争相手に勝とうとしている。未到の快挙を成し遂げ、いっそうの困難に挑み、持続や速さ、正確さ、高さの記録を自分のなかで打ち立てようとしている。一言で言えば、一人で遊んでいても、他人の追従を許さない結果を出して、誇りにしたいと思っているのだ。

(カイヨワ『遊びと人間』より)

- ① 遊びには、技の遊びと競争の遊びがある。おおむね個人的娯楽であると言える技の遊びは、遊び道具さえあれば一人でも飽きずに楽しめるため、競争相手や観客はいない方がよい。
- ② ヨーヨーやけん玉といった道具を使う遊びは、一人でも遊べるが、競争相手や観客としての他人がその場にいないければ、上達しない。したがって、遊びは単なる個人的娯楽ではない。
- ③ 遊びには、技の遊びと競争の遊びがある。おおむね個人的娯楽であると言える技の遊びよりも、競争の遊びの方が、よりいっそう優れた結果や記録を生み出す点で高尚である。
- ④ ヨーヨーやけん玉といった道具を使って一人で遊ぶときでも、その場にはいない相手や観客が想定されて、競争が行われている。したがって、遊びは単なる個人的娯楽ではない。

倫 理

問 6 下線部①に関して、ウィトゲンシュタインの「言語ゲーム」についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 言語は、日常生活の具体的な場面や状況に応じて使用されるが、我々は、他者との会話に参加しながら、適切な使用のルールを次第に身に付ける。その様子は、ゲームになぞらえられる。
- ② 言語は、語彙や文法といったルールのうえに成り立っている点で、ゲームになぞらえられる。そのなかでは、日常的な発話(パロール)が、構造としての言語(ラング)から区別される。
- ③ 言語は、人間の無意識の形成に深く関わっており、我々は成長の過程で、言語活動を通して、他者の欲望を自分自身の欲望としてつくりかえる。その様子は、ゲームになぞらえられる。
- ④ 言語は、語彙や文法といったルールを常につくりかえる点で、ゲームになぞらえられる。そのために、我々の日常的な会話では、語や概念の連関を解体する脱構築が常に行われる。

問 7 下線部㉔に関連して、「ホモ・ファール」というベルクソンの人間観の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 人間は、言語や記号、芸術などのように、様々な意味をあらわす象徴を使って、現実の世界を抽象的な仕方^で理解する存在である、ということに着目したものである。
- ② 人間は、他の動物よりも発達した知性(理性)をもち、それを活かして高度で複雑な思考や推理を行うことができる存在である、ということに着目したものである。
- ③ 人間は、目的をもって道具を作成し、それをを用いて自然に働きかけ、自分たちで環境をつくりかえながら進化してきた存在である、ということに着目したものである。
- ④ 人間は、自分たちを超越した力をもつ世界にまなざし^を向け、神を信じて祈りを捧げつつ、宗教という文化を育んできた存在である、ということに着目したものである。

倫 理

問 8 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 遊びはしばしば、成熟した文化や社会にとって不要なものとみなされてきた。だが、遊びは、労働を促進するための息抜きや気分転換として、子どもよりも、むしろ大人にとって重要である。
- ② 生産活動としての労働を重んじる価値観のもと、遊びは軽視されてきた。だが、20世紀に入ると、宗教や法律によって社会の規律が強められた結果、遊びがもつ重要性が見直されるようになった。
- ③ 遊びはしばしば、成熟した文化や社会にとって不要なものとみなされてきた。だが、遊びは、人間精神の自由や創造性の源泉であるだけでなく、人間の社会的活動を理解するうえでも重要である。
- ④ 生産活動としての労働を重んじる価値観のもと、遊びは軽視されてきた。だが、20世紀に入ると、人間の社会的活動が実用的目的から離れた結果、遊びがもつ重要性が見直されるようになった。